

教 科 商 業 科 目 マーケティング

授業科目	マーケティング	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	ICT 科		
教科書	マーケティング（実教出版）		副教材	商業経済検定問題集（実教出版）	
授業概要	現代市場のメカニズムを理解して、社会・企業・消費者等のさまざまな観点からマーケティングについて学ぶ。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	現代市場と マーケティング 市場調査	現代市場の特徴とマーケティングの概要を学習する。また、市場調査の意味と手順を理解する。		テキスト 問題集
		消費者行動	実態調査の手法を学び、消費者行動と購買意思決定過程を理解する。また、製品のライフサイクルと普及に関して学ぶ。		テキスト 問題集 過去問題
	2 学 期	販売計画	販売計画と販売予測について学び、立案・実施・統制に関して理解する。		テキスト 問題集 過去問題
		製品計画	製品計画の概要に関して理解し、製品ミックスと政策に関して考える。		テキスト 問題集 過去問題
	3 学 期	販売経路・販売 促進	価格戦略や販売経路の設定を学び、販売促進手法の重要性や広告の効果、ブランド価値について理解する。		テキスト 問題集 過去問題

教 科 商 業

科 目 管理会計

授業科目	管理会計	単位数	3 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	ICT 科		
教科書	工業簿記テキスト (T A C)		副教材	工業簿記問題集 (T A C) 各簿記検定問題集 (実教出版、英光社、T A C)	
授業概要	工業簿記の基礎を身につけさせる。 製品を製造する過程をイメージさせ、製品製造や販売した仕訳を学習する。 原価計算の必要性を理解させ、意思決定をさせる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	工業簿記の基礎	工業簿記の基本を身につけさせる。 工業簿記の流れを理解し T フォームへの転記ができるようにさせる。		テキスト
		各費目別計算	製品との関連を理解させ、工業簿記の流れを定着させる。 各費目別への分類わけを理解させる。		テキスト 問題集 過去問題
	2 学 期	総合原価計算	総合原価計算の目的を理解させ、単純・等級別・工程別・組別原価計算の違いを理解させる。		テキスト 問題集 過去問題
		標準原価計算	標準原価計算の意義を理解させ、原価管理の目的を理解させる。また、差異分析ができるようにさせる。		過去問題 テキスト 問題集
	3 学 期	決算手続き	決算手続きを定着させ、製造原価報告書と損益計算書の作成の手順を理解させる。		過去問題 テキスト 問題集
		直接原価計算	直接原価計算と全部原価計算との違いを理解させる。 また、損益分岐点分析を行い利益計画が立てられるようにさせる。		テキスト 問題集 過去問題

教 科 商 業

科 目 財務会計 I

授業科目	財務会計Ⅰ	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	ICT 科		
教科書	商業簿記テキスト（TAC）		副教材	商業簿記問題集（TAC） 各簿記検定問題集 （実教出版、英光社、TAC）	
授業概要	企業会計原則を理解させる。 株式会社社会計についての会計処理を学習する。 貸借対照表、損益計算書、連結会計の財務処理を理解する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	簿記の基礎	簿記の目的とルールを理解する。企業会計原則の理解を目指す。 また、貸借対照表に入る勘定科目を理解し、資産や負債、資本などに分類を分ける事ができるようにさせる。		テキスト
		ビジネス計算	商品売買の計算、手形の利息計算、有価証券売買や利息の計算、減価償却の計算などを理解させる。		テキスト 問題集 過去問題
	2 学 期	貸借対照表	取引の仕訳から決算処理、財務諸表作成までの手順の理解を目指す。 流動・固定の区分分けができるようにさせる。		テキスト 問題集 過去問題
		損益計算書	損益計算書に入る勘定科目を理解し、収益、費用の項目に分類分けができるようにさせる。また、決算処理の仕訳を理解させ財務諸表作成までの手順の理解を目指す。		過去問題
	3 学 期	連結会計	連結財務諸表の意味や目的を理解し、開始仕訳や未実現利益の消去についての仕訳ができるようにさせる。		テキスト 問題集 過去問題

教 科 商 業 科 目 まなびや基礎

授業科目	まなびや基礎		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	2 年		科	ICT 科		
教科書	まなびやマニュアル			副教材	なし	
授業概要	城南静岡高等学校では 3 年次に「まなびや研究」というアクティブラーニング授業がある。2 年次では基礎的な知識技術を学ぶとともに、実際のビジネスに利用できるマナーの基礎知識を同時に学習する。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学 期	○情報通信技術を利用した会計処理 ○静岡研究とビジネスマナー ○広告と広報	財務会計ソフトを使って、パソコンでの会計処理技術を身につける。 財務会計ソフトを使って、企業分析を行い、財務分析の知識を学習する。 地元商品を研究し、物の流れや販売までの流れを理解する。 ビジネスマナー講習を受講し、ビジネスマナーを身につける。 企業への取材を通してビジネスマナーを実践する。 過去のプレゼンテーションをみて、まなびやの歴史や、まなびやプライドを学習し、プレゼンテーションを作成する。			まなびや マニ ュ ア ル
	2 学 期	○コンテンツの制作 ○広告と広報	デジカメを使った写真の撮影から Photoshop を使った画像加工の技術を習得する。 まなびやテストサイトを使って、トップページの編集やページ編集を模擬体験する。 作成したページを評価し、修正する。 報告会を開催し、担当企業に対して成果報告をする。 次年度のまなびや運営に向けて静岡散策を行い、地元企業を発見調査する。			まなびや マニ ュ ア ル
	3 学 期	○引継ぎ ○まなびや運営	3 年生スタッフからまなびやの知識技術を学ぶ。 管理ページログイン、ページ作成、特定商取引、配送・決済方法、ページ確認、企業情報引継ぎなど、まなびや運営に向けて引継ぎを行う。 2 年生まなびや始動。 担当企業へ挨拶をし、名刺交換などのビジネスマナーを実践する。 担当企業との連絡（電話やメール）を定期的に行う。			まなびや マニ ュ ア ル

教 科 国語

科 目 現代文 A

授業科目	現代文 A		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 I C T 科		コース			
教科書	新編国語総合改訂版（大修館書店） 現代文 A 改訂版（大修館書店）			副教材	新総合図説国語（東京書籍） 新編国語総合課題ノート(大修館書店) 現代文 A 学習課題ノート(大修館書店)	
授業概要	国語や言語文化に対する関心を深め、伝統文化への理解を図る。様々な文章を読み、読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、伝えあう姿勢を育てる。また、読書することによって人生を豊かにする。					
授業内容 および 到達目標		単元	目 標			教 材
	1 学 期	随想	筆者が体験したことや考えたことを読み取り、自然への興味を広げる			生きることと食べる ことの意味
		漢文	漢文の読み下しのルールを確認し、唐代の詩の名作を読み味わい、漢詩の形式と表現を理解する。また、朗読や暗唱をとおして、漢文訓読の口調に慣れる。			唐詩
		評論	筆者の主張を読み取り、社会への関心を広げる。論理的な構成に注意して、小論文を書く際の参考にする。			何のために「働く」 のか
		古典	古典の随想・物語を読み、古文の表現に慣れ、表現の特色について考える。人間のさまざまな愛や運命を姿に触れる。			「枕草子」「伊勢物語」 「奥の細道」
	2 学 期	随想	他者の経験から生まれた意見や感想を読み、自分の考えを作り出すきっかけにする。 随想的な文章の内容や表現の特色を学び、他の文章にも関心や興味を広げる。			「どんな人にな りたかったか？」
		評論	自国の文化を理解し、他国の文化を尊重する態度を養う。対照的、対比的な論述の仕方に着目して、筆者の主張を正確に読み取る。			「和の思想、間の 文化」
		漢字検定	漢字検定で目標に模擬問題に取り組む。			漢字検定
	3 学 期	小説	人物像、情景、心情などの描写に注目し、その特色を的確にとらえる。作品の背景や時代状況にも注目して、小説を読み味わう。			「山月記」

教 科 国語

科 目 国語表現

授業科目	国語表現	単位数	2 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	国語表現（大修館）		副教材	準拠学習ノート（大修館）	
授業概要	国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現すること によって社会生活を充実させる態度を育てる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	書いて伝える	・ 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違い、接続詞など、文を書くために大切なことを理解する。		・ 小論文講習 ・ 整った文を書く ・ わかりやすい文を書く
		小論文入門	・ 小論文の基本的な書き方を理解する。 ・ 自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・ 文章の要旨をつかむための方法を理解する。		小論文とは何か 反論を想定して書く 資料を読み取って書く
		声のコミュニケーション	・ コミュニケーションの楽しさを感じる。 ・ 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。		言葉のストレッチ体操 ショートスピーチをしよう
	2 学 期	漢字検定	・ 漢字検定で目標の級に合格できるよう模擬問題に取り組む。		漢字検定問題集
		会話・発表	・ 視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。		プレゼンテーションの工夫
		自己PRと面接	・ 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。		自分を見つめて
	3 学 期	自己PRと面接	・ 事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。		効果的な自己PR 将来の自分を考えよう

教 科 社会(地歴)

科 目 日本史 A

授業科目	日本史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	東京書籍 日本史 A 現代からの歴史		副教材	ワーク	
授業概要	この授業を通して、幕末から現代までの大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料をもとに日本の歴史を多角的・多面的に把握できるようにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	第 1 章から第 2 章 2.立憲体制の成立	幕末(ペリー来航)から大日本国憲法成立までの流れを把握する。 またこの時代における歴史的事象の時代背景もとらえる。	教科書など	
	2 学 期	第 2 章 2.立憲体制の成立から第 3 章 4.太平洋戦争と日本	大日本帝国が成立してから終戦までの流れを理解し、大戦景気から戦争の長期化により経済が悪化していった社会の様子を考察する。	教科書など	
	3 学 期	第 4 章	終戦、朝鮮戦争、高度経済成長を経て、日本がどのように立ち直っていったのか。また、日本の今後の課題を考察する。	教科書など	

教 科 数 学 科 目 数 学 A

授業科目	数学 A	単位数	2	履修形態	必修・選択
履修学年	2 年	コース	ICT 科		
教科書	東京書籍 数学A		副教材	はぎとり式練習ドリル数 A（数研）	
授業概要	数学Aでは、中学で学んだことを分類し、少し発展させた集合・場合の数と確率、整数、平面図形について学ぶ。数学全体の基礎を多く使う分野であり、論理的な見方や考え方を認識できるようにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学期	1 章：場合の数と確率 集合の要素と個数 場合の数	① 有限集合の要素の表し方を学び、その個数を考える。 ② もれなく、重複のないように樹形図をかく。調べて、順列・組合せに体系化していく。		練習ドリル
		確率の基本 独立な試行 条件付き確率	① 確率の基本性質や計算方法を学びその意味を理解し日常生活に役立てる。 ② 日常生活にありがちな独立試行、期待値の問題を考えていく。		
	2 学期	2 章：整数の性質 約数と倍数 整数の性質の活用	① 倍数判定法を覚える。 ② 素因数分解を用いて、公倍数と公約数を活用する。 ③ n進法を理解する。		
		3 学期	3 章：図形の性質 三角形の性質 円の性質 数学 A のまとめ	① 三角形の比の定理を理解する。 ② 円に関する定理を理解する。 ③ 1 年間の内容を復習し理解する。	

教 科 理 科 目 生 物 基 礎

授業科目	生物基礎		単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	2 年		コース	ICT 科		
教科書	第一学習社 新生物基礎			副教材	第一学習社 プログレス生物基礎	
授業概要	地球上に生息している多様な生物の共通点について理解を深める授業です。これらを理解することで生物が生きていくために必要な仕組みについて理解をすることが出来ます。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学 期	生物の特徴	生物に様々な種類がいるが、共通性もあることを理解する。生物を形成している細胞の様々な機能について理解する。			原核生物 真核生物 顕微鏡
	2 学 期	遺伝子とその働き	遺伝子とは何か。どのようにして親から子へ伝えられるのかを理解する。また、遺伝子が体の中でどのように働いているかを学ぶ。			DNA タンパク質 転写・翻訳
	3 学 期	体内環境と恒常性 植生の多様性と分布	生物の体内環境はさまざまな働きによって一定に保たれていることを理解し、その仕組みについて説明することができる。 生物がそれぞれの環境に適応してきたことを理解し、どの地域にどのバイオームがみられるかを考えながら理解する。			体液 肝臓・心臓 腎臓 バイオーム

教 科 外 国 語 科 目 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	3 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科		コース			
教科書	WORLD TREK English Communication Ⅱ (桐原書店)			副教材	予習ノート、ワークブック 英検問題集	
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英検 1 級・2 級の取得を目指す。					
授業内容		単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	Lesson 1 ～ Lesson 4 英検対策	世界の風土・風習、生物・技術、心理・手紙、文化について 理解を深める。 文型や、助動詞、形式主語を理解し使うことができる。 2 級・準 2 級の取得を目指す。			WORLD TREK 英検問題集
	2 学 期	Lesson 5 ～ Lesson 8	希望・環境、夢・スポーツ、文化・風習について理解を深める。 様々な完了形、分詞構文、形式目的語を理解し使うことができる。			WORLD TREK 英検問題集
	3 学 期	Lesson 9 ～ Lesson 10	伝記・自然、芸術・歴史について理解を深める。 仮定法、比較表現、準否定語を理解し使うことができる。			WORLD TREK

教 科 外国語 科目 英語表現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	MY WAY English Expression I New Edition (三省堂)	副教材	MY WAY WORKBOOK 英検問題集、全商英検問題集		
授業概要	基本的な文法や表現を理解し、書いたり話したりする能力を養う。 また、既習の文法や表現を使い、英語で表現する能力を養う。 実用英語技能検定 2 ～ 3 級や、全商英語検定 1 ～ 3 級の取得を目指す。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	Lesson1 ～Lesson 9	現在形、過去形、未来形、現在完了形を理解し使うことができる。 助動詞、受動態を理解し使うことができる。	MY WAY	
	2 学 期	全商英検対策 Lesson 10 ～ Lesson 13	1 ～ 3 級の取得を目指す。 不定詞、動名詞、分詞を理解し使うことができる。	MY WAY 全商英検問題集	
	3 学 期	英検上級対策 Lesson 14 ～ Lesson 15 実践演習	2 ～ 3 級の取得を目指す。 分詞、知覚動詞を理解し使うことができる。 実生活の中から様々な英語に触れる。	MY WAY 英検問題集	

教 科 保健体育

科 目 保健

授業科目	保健		単位数	1 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年		コース	全学年		
教科書	現代保健体育（大修館書店）			副教材	現代保健ノート（大修館書店）	
授業概要	私達の身体と心は年齢と共に変化している。健康の為に私たちや社会のなすべき事も同様に変化する。ここでは、思春期から中高年期までの健康に関わる事や、各年齢層で必要な保健・医療サービスの活用などを学習させる。又、健康で生きていく上で私達を取り巻く自然環境、また社会制度や活動などが深く関わっており、個人の努力とが組み合わさって健康が実現する。健康に関する環境・食品の問題や働く事と健康との関連について、学習させたい。					
内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学 期	生涯を通じる健康	思春期の身体と心の健康を理解させる。			生涯の各段階 における健康 P C 使用
			性意識の男女差・性的欲求・性行動について知る。			
			心身の発達と健康な結婚生活を理解させる。			
	2 学 期		受精・妊娠・出産について知る。			性についての 話し合い 保健・医療制 度及び地域の 保健・医療機 関
			家族計画と避妊法について理解させる。			
			加齢と健康について知る。			
			高齢者の保健・医療・福祉について理解させる。 (医療制度を含む)			
			食品と環境の保健について			
	3 学 期		社会生活と健康	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康被害について		
		公害について調査				
		健康被害の防止と環境対策を知る。				
		労働災害・職業病について			労働と健康	

教 科 保健体育

科 目 体育

授業科目	体育	単位数	2 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年	コース	ICT 科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ 大修館書店	
授業概要	運動を通して知識を深めるとともに技能を高め、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法の個々の能力の向上を図る。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートにおける個々の能力の向上を図る。		
	2 学 期	ダンス	創作を通じて仲間との交流を図り、楽しさをより強く表現できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。ほん転系の技を正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
	3 学 期	サッカー	パス、ドリブル、シュートの技術の向上を図り、安全な試合展開ができるようにする。		
		武道	基本的な技術を身につけ、試合での勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう。		

教科芸術

科目音楽

授業科目	音楽Ⅰ		単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年		科	ICT科・普通科		
教科書	音楽之友社			副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる。					
授業内容 および 到達目標		単元	目標		教材	
	1 学 期	青春と音楽	歌唱技能の基本を身に付けたり、楽典の基礎を学び、音楽の楽しさを味わう。		翼をください	
		アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせで演奏したり、様々な音素材を用いた創作を通して、それらに必要な技能を身に付けイメージをもって表現する。		星野源「うちで踊ろう」 リコーダー ボディーパーカッション	
		世界の音楽	世界の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを感じ取る。		O sole mio 野ばら ラサ・サヤンゲ	
	2 学 期	器楽	ギターの基本的な奏法を身に付けるとともに、演奏を通して、撥弦楽器の音色のよさを知る。また、メロディーと伴奏に分かれ、アンサンブルの楽しさを味わう。		ギターの教本	
		劇音楽	劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。		ホールニューワールド 民衆の歌	
3 学 期		アンサンブルを楽しもう	アンサンブルをする楽しみをもって、ハーモニーを感じ取りながら演奏する。		「アナと雪の女王」メドレー	